

走るチームは本当に強いのか？

大阪府立天王寺高等学校 2年 野村 実希 犬塚 陸斗 小林 広樹 吉田 慎太郎

○研究内容

- ・勝ち点と走行距離の相関をだし、本当に走るチームは勝ち点が多いのか調べる。
- ・2016のJ1リーグの一番強いチーム（浦和レッドダイアモンズ）、一番弱いチーム（アビズパ福岡）、一番走ってるチーム（サガン鳥栖）、一番走っていないチーム（ヴィッセル神戸）のポジション別の走行距離とスプリント回数をだし、考察する。
- ・各チームの戦術をデータから調べ照らし合わせる。

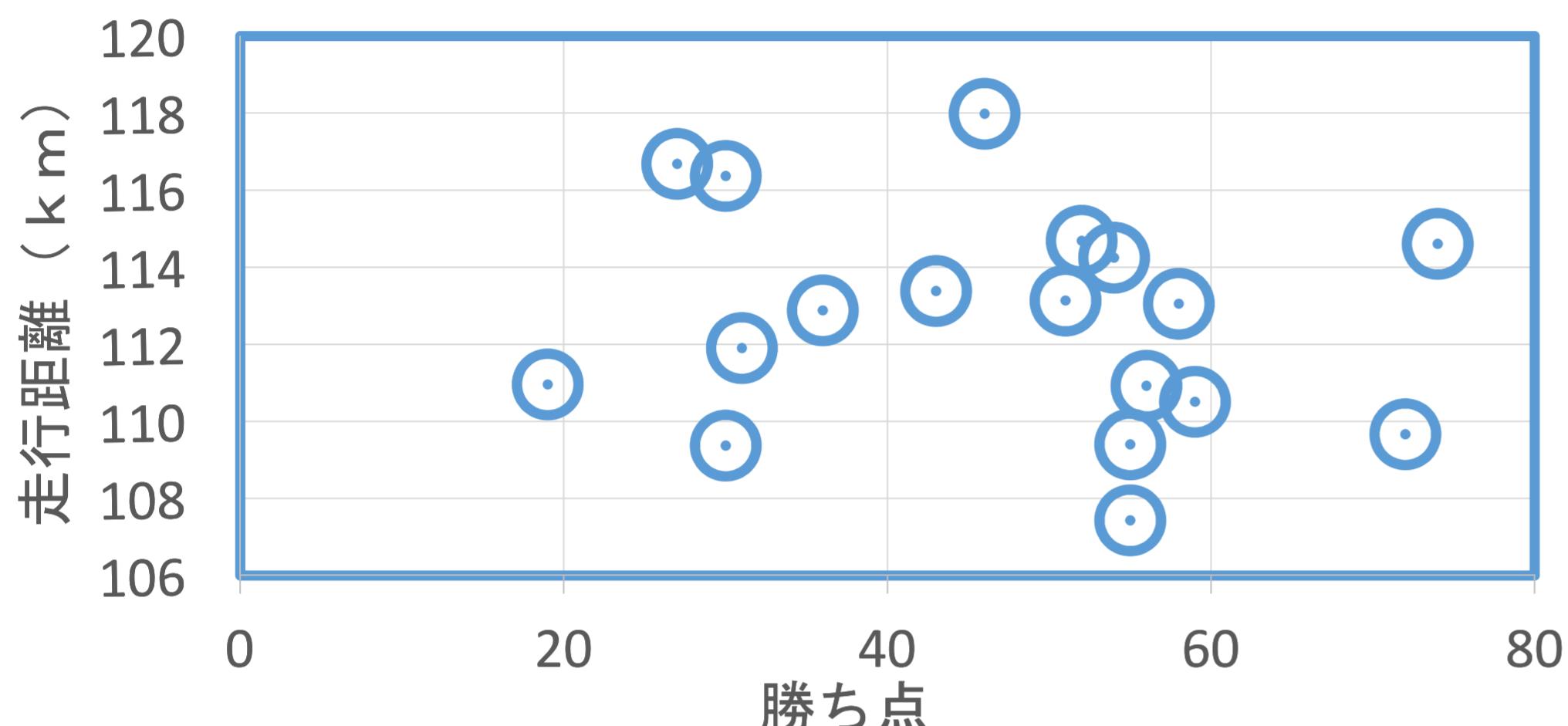
○疑問

- ・サッカーではよく走れといわれますが、本当に走るチームはどのようなところが強いのか？強いチームはどんなところが強いのか？などとこころを調べてみたいと思いました。

○仮説

- ・走るチームが強く、特に守備の部分でデータに出る。

走行距離と勝ち点の相関



○考察

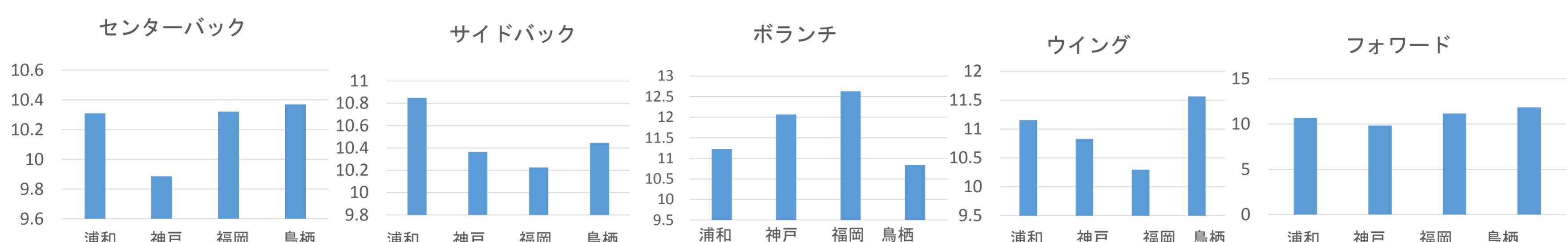
- ・年間順位3位、鹿島が走行距離14位であることや、年間順位17位湘南が走行距離2位である。
- ・相関係数が-0.18977…である。

○わかること

- ・「強さ」と走行距離は関係ない。

○4チームの比較

- ・浦和レッドダイアモンズとアビズパ福岡、サガン鳥栖、ヴィッセル神戸の4チームのポジション別の走行距離をグラフ化した。



○考察

- ・一番走っているチームがどのポジションにおいても一番走っている訳ではない。

戦術と深いかかわりがあるのではないか？

○戦術

- ・これらのチームの戦術は、FOOTBALL LAB (<http://www.football-lab.jp/>) からのデータよりこのようにまとめた。

・浦和レッズ

- ・強烈なウイングバックの存在と前線からのハイプレスで敵陣でサッカーをすることが多い
→多彩な攻撃パターンを持つある程度運動量が多い

・サガン鳥栖

- ・最前列から最後尾までの運動的な守備
・手数をかけないショートカウンター
→運動量が多くなる要因

・アビズパ福岡

- ・左サイド攻撃が中心
・固めた守備からのカウンター
→必然的に、自陣でプレーすることが多くなるので、比較的運動量が少ない

・ヴィッセル神戸

- ・セットプレーからの得点が多い
・中央からの崩しが中心
・縦に長く横に狭いサッカー
→運動量が少ない要因

○まとめ

- ・本研究の検証結果より走行距離によるチームの強さは認められなかったが、戦術によって、走行距離は変化することが分かった。だが、チームの強さと走行距離との関係のみに注目したため、強いチームが実際に何のデータにおいてほかのチームを上回っているのか検証できなかった。したがって、今後の研究では、四チームだけでなく、J1リーグ18チームの戦術をより詳しく調べ、強いチームの秘訣を探っていきたい。

○参考文献

- ・FOOTBALL LAB (<http://www.football-lab.jp/>)
- ・J. LEAGUE Data Site (<https://data.j-league.or.jp/SFTP01/>)